

平成22年度 仙台市小学校長会生徒指導部会 研究のまとめ

生徒指導部では、昨年度から「教育相談機能を生かした学校経営と校長の役割」をテーマに調査研究を行ってきました。昨年度のアンケート調査から、これまでのいじめや不登校の問題に加えて、授業が成立しない学級への対応、家庭や保護者の問題への対応等も増えていることが伺えました。併せて、校長としての教育相談へのかかわりの現状や教員の意識改革や組織の活用等の課題が明らかになりました。

そこで、今年度は各校の教育相談に関する実態や現状を基に、具体的な取組や対応策を集め、分析し、課題解決に向けた校長の役割を探る必要があると考え、下記のような調査研究を行いました。

「教育相談機能を生かした学校経営と校長の役割」

1 調査の目的

各校の教育相談に関する実態や現状を基に、具体的な取組や対応策をまとめることで、より教育相談機能を高めると共に課題解決に向けた校長の役割を探る。

2 調査について

(1) 調査方法

仙台市立小学校への質問紙によるアンケート調査

(2) 調査対象

- ① 第一次調査 仙台市立小学校125校の校長
- ② 第二次調査 第一次調査を基に、14校の校長に依頼

(3) 調査期間

- ① 第一次調査 平成22年6月15日～平成22年6月30日
- ② 第二次調査 平成22年7月13日～平成22年8月20日

3 調査内容

(1) 第一次調査について

第一次調査では、昨年度のアンケートから明らかになった各校の教育相談に関する現状を基に、これまでに小学校長として経験した様々なケースを、①不登校への対応、②非行への対応、③虐待への対応、④指導困難学級への対応、⑤保護者への支援に分けて調査した。また、生徒指導上の課題への具体的な取組例や対応例についても調査した。

(2) 第二次調査について

第二次調査では、第一次調査を基に、不登校への対応、非行への対応、虐待への対応、指導困難学級への対応、保護者への支援等について、代表的な事例について調査した。

各小学校には、調査研究のまとめを送付いたしましたので、詳細につきましては、そちらをご覧ください。

これまでの皆様のご協力に感謝申し上げます。